



# 西小だより

1月号

令和6年1月9日

## ◆本年もよろしく願いいたします◆

あけましておめでとうございます。新しい年が子どもたち、保護者、地域の皆様にとって幸多い年でありますように心からお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も本校教育推進のため、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

冬休みの間、子どもたちは幸い大きな事故やけがの報告もなく、楽しく過ごせたようです。ご家庭でのきめ細かなご指導に感謝いたします。

さて、新年のスタートにあたり、児童一人ひとりが学習や生活をする中で「今年はこれを頑張ろう」「今年はこれができるようになろう」という目標を立てさせることが多くあります。その時に掲げた目標に向かっての努力が積み重なり、やがて、その児童の夢の実現に繋がっていきます。思春期を迎える頃には、その夢が修正されたり、新たな夢を抱いたりすることを、私たち大人は経験済みです。幼い頃に抱いていた夢を実現する大人は、ごく一部なのかもしれません。

しかし、夢や目標に向かって努力する子どもと夢や目標が見つからない子どもとでは、頑張り方や努力の方法が自ずと異なってきます。子どもたちに「意欲」「やる気」をもたせるためには、夢や目標をもたせ続けていくことがとても大切であると考えます。そして、「継続は力なり」と言われるように、目標に向かって努力し続ける習慣をつけさせることが何よりも重要です。

子どもに目標を達成させる上では、周りにいる大人の力添えが必要になると思っています。目標の内容は、周りの大人から見て子どもが達成できるものにしてあげることが望ましいと考えられています。あまりに目標が高すぎると、努力を始める前から「どうせできっこない!」という気持ちになってしまい、これでは逆効果です。ご家庭において、親子で一緒に目標を達成させるためにご協力をお願いします。

特に3学期は、1年間の総まとめの時期として、次の年度に確かにつなげる力を育てることを大切にして、教職員一同でリードしてまいります。